

新宿で、立ちあがる、走り出す、はばたく。

しんじゅく 創業1丁目

新宿区立高田馬場創業支援センターニュースレター



NEWS SHINJUKU DREAM ACTIVATION IIIが開催！参加者募集中！

今年で3回目となる新宿区と東京商工会議所新宿支部共催によるビジネスプランコンテスト「SHINJUKU DREAM ACTIVATION III (以下SDA)」の開催が決まり、現在参加者を募集中です。

SDAとは新宿区の若年層の起業起爆剤となるべく開催される、伴走支援型ビジネスプランコンテストです。創業3年以内の区内中小企業者で代表者が35歳以下、もしくは35歳以下で区内に在住・在学・在勤している方を対象に行われています。

昨年は当センター利用者も2名がエントリーし、ファイナリストに選出されました。

エントリー審査(一次審査)を通過すると(10名)、以降はプロフェッショナルなアクティベーターによる事業計画のブラッシュアップ支援が行われ、ビジネスプランの飛躍的なレベルアップを図れます。

さらに面接による二次審査を通過するとファイナリストとして公開プレゼンテーション審査(最終審査)に臨むことになります。この公開プレゼンに登壇をすると、副賞として当高田馬場創業支援センターの利用優遇が受けられ、シェアオフィスの利用料が無料となります(最長2年)。

最優秀賞50万円、優秀賞20万円、審査委員特別賞10万円の賞金の他、オーディエンス賞が選出され、その後最長2年間のアクティベーターによる事業化、経営アドバイスのアフターフォローが得られます。また、学生の場合はエントリー審査を通過すると学生賞3万円を進呈します。

賞金だけでなく、アクティベーターによるサポートなど手厚い支援を受けることのできるビジネスプランコンテストとなっていますので、35歳以下で起業のアイデアを持った方は是非エントリーしてみてください。



SHINJUKU DREAM ACTIVATION III-U35 新宿ビジネスプランコンテスト - 応募要項

【エントリー対象者】

新宿区内で事業の立上げを目指す、以下のいずれかの要件を満たす方

- (1) 35歳以下で、区内に在住・在学・在勤していること
- (2) 創業後3年以内の区内中小企業者で代表者が35歳以下であること

《注意事項》

※申請者が**昭和60年4月2日以降**の生まれであること

(令和2年度中に35歳以下であること)

※「主たる事務所」が区内に登録されている大学の場合、区外在学生も応募可能

※チームで申し込みをする場合は、代表申請者が上記要件を満たしていること

※他のビジネスプランコンテスト等において、入賞実績があるプランは応募不可

※既に製品・サービス等が市場に出回っている事業は対象外

※ビジネスプランは公序良俗に反せず、社会通念上適切なものであること

【エントリー方法】

専用Webサイト、もしくは新宿区のWebサイトよりエントリーシートをダウンロードの上、U35新宿ビジネスプランコンテスト事務局宛にメールか郵便にて提出

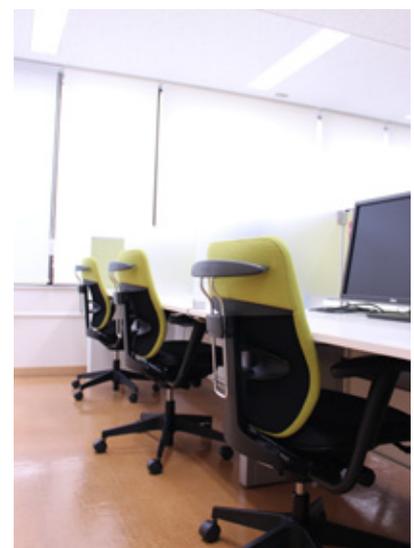
【エントリー締切】

9月11日(金)※必着

最新情報、エントリー書類などの詳細は下記URL、

スマホからはQRコードを読み込んでチェック！

<https://www.shinjuku-sda.com/>



▲ 最終選考登壇者特典の当高田馬場創業支援センターのシェアオフィス。希望者は最長2年間、無料でご利用頂けます。

【開館時間】

年中無休(年末年始を除く)

8:30~24:00

地方の人達と連携することで「移住」のハードルを下げて新しい働き方を提案する。
ライフスタイルの変化を考えるようになった今だからこそ、地方の価値を引き出したい。

現在の事業内容について教えてください。

「地方移住のハードルを下げる」というコンセプトで「flato」というサービスを展開しています。移住は就職活動に似ていると捉えていて、就活の場合「本当にそこでいいのか」を考える際にまずは情報収集をしますよね。OB訪問をして、インターンシップなどで実際に働いてみてそこから決めるという流れになると思います。移住も同じで、情報収集をする必要があります。ただ移住を検討すると直接現地に行くしかないのが課題だと考えています。現在ある「お試し移住」のサービスは行政が行っているんですが、そうなるとどうしても地域目線の「いいところですよ」が多くなり偏った意見になってしまいます。そこで現地に実際に移住した方、活動をされている方の本音が聞けて、直接相談ができる「移住版 OB訪問」というサービスを現在は展開しています。生の声を色々聞くことによって「移住失敗」というケースをなくしていきたいです。

創業しようと思ったきっかけは何ですか？

フリーランスを経て18年に会社を設立しました。出身が沖縄県で現地の会社でSEとして働いていて、東京への転勤をきっかけに転職を考えたんですが、その時に「人」ではなく「経歴」と「土地柄」で見られたというのが納得いかず、独立してフリーランスになり、同じフリーランス向けのキャリアアドバイザーをしていました。ただ、正直その事業自体がずっと続くとは思えないという不安がありました。その頃の相談者が今一緒に事業を行っている面々なんですが、エンジニアには「スキルはあるけど企業で埋もれている」ような方が非常に多い。「エンジニアは資産」だと思っていたので、この資産を活用して何か面白いことを一緒にやりたいなど。

自分の独立時の経験から「地方の定説を覆したい」「今後フリーランスという働き方がくる」という思いがあったので、「イノベーションを起こすようなフリーランスを対象にしたサービスを作りたい」と考えた時、会社を作ることにしました。フリーランスの「チーム」という感じではなく、「信頼ある会社」にすることで、お金を借りて一気にバレッジがかけられるだろうと考えました。

創業する際に大変だったことは何ですか？

実は勢いで会社の設立をしたところがあり、「今だったら絶対考える」という3つの教訓がありました。1つはオフィスが不要であったこと。御苑の近くに借りていたのですが、はじめからリモートでできていて、そのオフィスはあまり活用できずに結局手放したので、僕が使う拠点である高田馬場創業支援センターがあれば充分でした。2つめは3~5名で始めればよかったということ。コミュニティを運営していたので有志を募って十数名くらいで始めたのですが、大人数だと民主主義的な動きになり意思決定に時間がかかってしまいました。小回りがきく「一党独裁」な感じで始めればよかったと思っています。3つめは300万~500万は貯金が必要だったことです。貯めることはできたんですが、待たずに勢いでやってしまったので少額しか融資がありませんでした。この3つをちゃんと考えていたら、ある程度準備ができた状態でもっと早く大きくできたと思っています。

創業に新宿区を選んだ理由を教えてください。

僕は「地方創生」というより「東京一極集中問題」の方を強く意識しています。東京の人達を対象に色々アプローチして地方に関心を向けて、如何に東京から人を引き剥がしていくかというところがサービスになり得る。そんなサービスを展開する上で「東京の中心はどこだろう」と考えた時に新宿区かなと。地方からすると「新宿」はブランドになっていて、「新宿にオフィスを構えているスタートアップ」というだけでもアピールがしやすいということもあります。

あとはメンバーが集まりやすい、アクセスのよい場所を考えたら新宿でした。

創業を目指している方にメッセージをお願いします。

先にもお話しした3つの教訓は大事です。スモールスタートでいいと思います。「人」「お金」「場所」この3つの最低限があること。技術をもった「人」がいれば「もの」が作れます。300万~500万の「お金」があれば、その人と数ヶ月間色々試行錯誤ができて、資金がなくなってきたタイミングで別の資金調達をするという方法もできます。人と作る手段があれば、「場所」は最低限を確保できていればいいと思います。コロナウイルスという障害で「別に出社しなくてもいい」と沢山の人が気づけたのは大きな影響です。何が必要か、考えることは大事だと身をもって知りました。



株式会社 FromTo
代表取締役 CEO 宮城 浩さん

1986年生まれ沖縄県出身。
大手グループ企業の地元IT企業にてSEを経験し、上京後フリーランスエンジニアに転身。
その後、キャリアアドバイザーとして活動しエンジニアコミュニティを運営。
コミュニティのメンバーを巻き込み株式会社FromToを設立。
地元沖縄での「沖縄は給料低いのが当たり前」という原体験からflatoを構想。
flatoを通じて「いま、地方が熱い！」という文化を創る。
現在静岡県浜松市に移住。会社はフルリモート。

新宿区立高田馬場創業支援センターのご案内

新宿区内でこれから創業を目指す方、創業されて間もない方を対象としたインキュベーションオフィス(シェアオフィス)です。

創業支援メニュー

- ・オフィススペースの提供
- ・各種相談(経営・戦略・資金・販促)
- ・コミュニティ連携の機会提供
- ・ビジネスコンビニ機能
- ・利用者交流会の開催

主な施設

- ・シェアオフィス(10席)
- ・個室オフィス(2室)
- ・会議室兼商談室(18席)
- ・交流スペース
- ・相談室・資料スペース等
- ※同建物内にごじます、新宿消費生活センター分館の会議室(36名)、調理室兼商品テスト室もご利用(有料)になります。

お知らせ

施設利用者の募集について

新宿区立高田馬場創業支援センターは、新宿区内での創業もしくは創業間もない方又は経営改革を目指す方を支援する施設です。

お申し込みを行う前に、当センターにお越しいただき、必ず施設見学・利用相談をしていただいております。

詳細は、当センターホームページ(<https://incu.shinjuku-center.jp>)をご覧ください、お気軽にご相談ください。

利用(入居)のご案内

ご利用にあたっては、必ず当センターの見学・利用相談を受けてください。そのうえで、必要書類をご提出いただき、事業計画の具体性、実現可能性等を審査し、承認された方に限りご利用いただけます。

■募集期間：募集は定員になり次第終了します。
募集状況については当センターホームページ等でご確認ください。

- 定員：32名
- 利用期間：6カ月間 ※3回まで更新可、最長2年間
- 開館日：年中無休 ※年末年始(12/29~1/3)を除く
- 利用時間：8:30~24:00

《お問合せ》

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番10号
Tel 03-3205-3031 / Fax 03-3205-1007
Email incu@shinjuku-center.jp / URL <https://incu.shinjuku-center.jp>

新宿区立高田馬場創業支援センター

ニュースレターしんじゅく創業1丁目

発行人：田中健一朗 編集者：加島嘉代

発行No：第2020-050号 発行日：2020年7月31日

指定管理者：有限会社そーほっと